

**保育所保育士・幼稚園・認定こども園・
小学校・義務教育学校教員等研修会（第1回）アンケートのまとめ**

- 1 目的 新入生の学校生活の様子について情報交換を行うことで、保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・義務教育学校における教育、保育活動についての相互理解を図るとともに、発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図る。
- 2 主催 宗像市教育委員会（子ども育成課）
- 3 期日 令和3年7月8日（木）
- 4 会場 宗像市役所（103会議室）
- 5 対象者 ・宗像市内小学校・義務教育学校教諭（※各校1名以上参加）
（低学年主任、保幼小連携担当、特別支援教育コーディネーター等）
・宗像市内保育所保育士・幼稚園教諭・認定こども園教員（※各園1名以上参加）
（年長担任、発達支援コーディネーター等）

～アンケート回答者：23人～

1. 「幼少期の終わりまでに育ってほしい姿」について

1-1 特に大切にされている姿は何ですか。

- ・自立心（基本的習慣等、身辺自立）
- ・協同性
- ・思いやりの心を持つ（他人の気持ちを考えられる）
- ・言葉での伝え合い（自分の気持ちを言えるようになる）
- ・豊かな感性と表現
- ・自然との関わり
- ・道徳心、自尊心、生命尊重
- ・主体的に行動する姿
- ・健康な心と体（健やかな成長）
- ・規範意識の芽生え
- ・コミュニケーション力
- ・挨拶ができる
- ・1人でも信頼でき、頼れる関係をつくる
- ・好きと思えるものをつくる
- ・子ども一人一人の興味・関心が探求心へと発展し、それをあらゆるものへ広げ、継続的に求める姿

1-2 課題や深く学びたい姿は何ですか。

- ・自立心、自立する姿（自分のことは自分でできること）
- ・一人一人の特性や個性に合わせて、それぞれが自分で考えていく姿
- ・数量、図形、文字等への関心感覚
- ・豊かな感性と表現
- ・支援が必要な子に対する適切な援助について（集団・個別）
- ・道徳性、規範意識の芽生えの導き方や子ども達への伝え方
- ・「興味・関心をもって意欲的に過ごす」子ども達の姿
- ・言葉による伝え合い
- ・社会生活との関わり
- ・協同性
- ・保護者との関わり方や関係づくり
- ・発達段階による子どもの姿（人との関わり方）

2. 情報交換会へのご意見・ご要望があればご記入ください。

○保育所・幼稚園・認定こども園の回答

- ・卒園後の小学校での姿や様子を聞くことができて良かった（安心した）
- ・情報交換がスムーズにいき、子どものために活かされると嬉しい
- ・園で今回の研修会の話共有し、今の5歳児の姿へとつなげていきたい
- ・とてもいい時間だった。もっとこのような機会を作ってほしい
- ・多少の課題はあるが、楽しく通学できて新しい環境でも伸び伸びしているようで嬉しかった
- ・子ども達の詳しい話ができて良かった。特に気になる子のみで構わないが事前に情報交換の内容が分かっていると、この会に参加できない元担任からも情報を聞くことができるので助かる
- ・小学校の先生が悩んでいることを知れて、今後小学校への引継の参考になった。改めて保幼小はつながっていて子どもの成長には大事と分かった。しっかり子どもと向き合いたいと強く思った
- ・子どもと保護者について誤解や思い込みなく対応してもらうために、とてもいい機会だと感じる。園で聞いていた保護者の願いや思いを伝えることができた。

○小学校の回答

- ・情報交換がする場があるのはありがたい
- ・幼稚園や保育園の先生から直接園の頃の様子を聞くことができ、今後の指導の参考になった
- ・色々な話が直接聞いてとても有意義だった
- ・入学までの様子が聞いてよかった。子ども本人のことだけでなく、保護者がどんな考えかどんな環境に置かれているのか情報交換できるのがありがたい
- ・色々な情報（特に保護者関係）を聞くことができて良かった
- ・子どもの様子だけでなく、保護者の思い、考え、対応等を直接園の先生から聞けるのはありがたい
- ・夏休みに入ってからの開催であれば1年担任そろうて参加できるので良かったと思う
- ・児童名だけを挙げることになっているが、具体的に聞きたいこともあるので、聞きたい内容を事前に相手に伝えられているといいと思う

3. 保育の中で楽しいと思える時、また保育士になってよかったと思える時はどんな時ですか。

- ・子どもが興味・関心を示し、「もう1回」や「○○したい」とリクエストがあった時
- ・どんな小さなことでも、子どもの成長を感じたり傍で見ることができた時
- ・自分がこうなしてほしい姿や、こうしたいという気持ちに子ども達も同じ気持ちになり、行動などやり遂げた時
- ・行事に向けての練習や本番に一生懸命取り組み、成功し喜んでる姿を見た時
- ・出来なかったことができるようになり、嬉しそうにしている姿を見た時
- ・子どもが楽しそうにしている時
- ・友達との関わりに葛藤を抱えていた子が、少しずつ課題を克服して自分から関わりを持とうと行動で示した時
- ・苦手なことに少しずつ挑戦し達成した時
- ・心も体も豊かに周りの友達と共感したり励まし合ったりしながら、生き生きと自己発揮する姿を見て、子ども・保護者・職員仲間と成長を喜びあえる時
- ・子どもの笑顔や優しさにふれた時
- ・子どもが笑顔で「先生」と来てくれる時
- ・子どもと遊びを楽しんでいる時
- ・自分が想像していたものと全く違う発想で、全く違う作品を作り上げた時のその作品や作り上げた時の嬉しそうな顔を見た時
- ・「先生大好き」と毎日言ってもらえ、毎日頑張れる
- ・子ども達との生活と子ども達の笑顔
- ・子ども達とともに作り上げる行事を通して、できなかったことができるようになった達成感を味わったり成長を感じたりできること
- ・子どもと関わっている時全て
- ・ふとした時に子ども達の生き生きした表情を見るとこの仕事にやりがいを感じる
- ・何気ない遊び、活動でも一緒に取り組むことができる場面が何より楽しい
- ・卒園して14年たって自分の夢がかなったと電話をもらった時
- ・出来ないことができるようになった瞬間や、子どもたちが日頃の保育活動に笑顔で取り組んでいる時
- ・成長を保護者に伝え、お互いに喜びあえた時
- ・子ども達と一緒に何か楽しめる時や、楽しんでくれるかなと思った活動を「楽しかった」と言ってもらえた時
- ・子ども達と一緒に過ごし、行事など大変なことを乗り越え子どもたちの成長を感じる時
- ・子どもの成長を感じ、その成長を子・保護者・職員達と喜びあえる時
- ・卒園した子ども達の立派に成長した姿を見た時
- ・子ども達が笑顔でいてくれる毎日が楽しい
- ・色々な人脈が広がった時
- ・「先生」と呼ばれ「大好き」と伝えられた時
- ・日常生活で「発表会に使えるそう」や「子どもに伝えてみよう」と周りに目を向けるようになったこと
- ・その子の初めての場面に出会える
- ・毎日違うことの繰り返し、可愛さが沢山の日々で楽しい
- ・子ども達の言葉、行動などの一つ一つが独創性にあふれているところに面白さを感じ、もっと聞きたいもっと見たいと思って関わっている
- ・自分の手だて（援助）により子ども達の瞳が輝いたときに喜びを感じる